

正月の甲斐文丈夫か行

すまふ正月木来るとなると

お正月をむかえの津路はいまがしかつた

大それじをしたり 家の甲をよむのえ

どんなものを着るか そしてだれが来ると

と 正月が来るとか 大変なすけがら

必要なるものは 商人がもつて来ると

要は行は 必ずある

家の甲の津路は大変だつた

必要なるものは充分にある

今作 ~~身成~~ ちがつてしるうた

家の甲 何をしなくとも 正月は来ると

必要なるものは 早やめは買う 陰又する

がなると お正月は やつて来ると

これと正月の合間は 何とかしらいと

浮文あり 十二月はじりて来ると

正月自甲はとどかない

うっかりあつたと

それは一月中はすぎた 存つてしるう

いそがしいのが 受つてきた

自分で正月甲の食品は確保しなくては

守らな

守んやりすうてい

お正月の給をい

他手はいす一月十日まで

テバト、全場とスバト、は若と可か

世の中業然し此ニとを

今とはお正月に

今日はそりすうた

2022  
12/29